

玖珂ICから柳井IC(新設)までノンストップ。安全・快適です!

下村太郎さんが皆さまの声を形にした やないの未来図案 経済と人口の好循環を目指して

元気でワクワク。希望ある柳井へ!

2号 | 2024年8月発行
機関紙

やないの未来

■やないの未来は

本会は、柳井市の発展と市民生活の向上を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする。

代表：細川裕司

日本一のふるさとづくり!

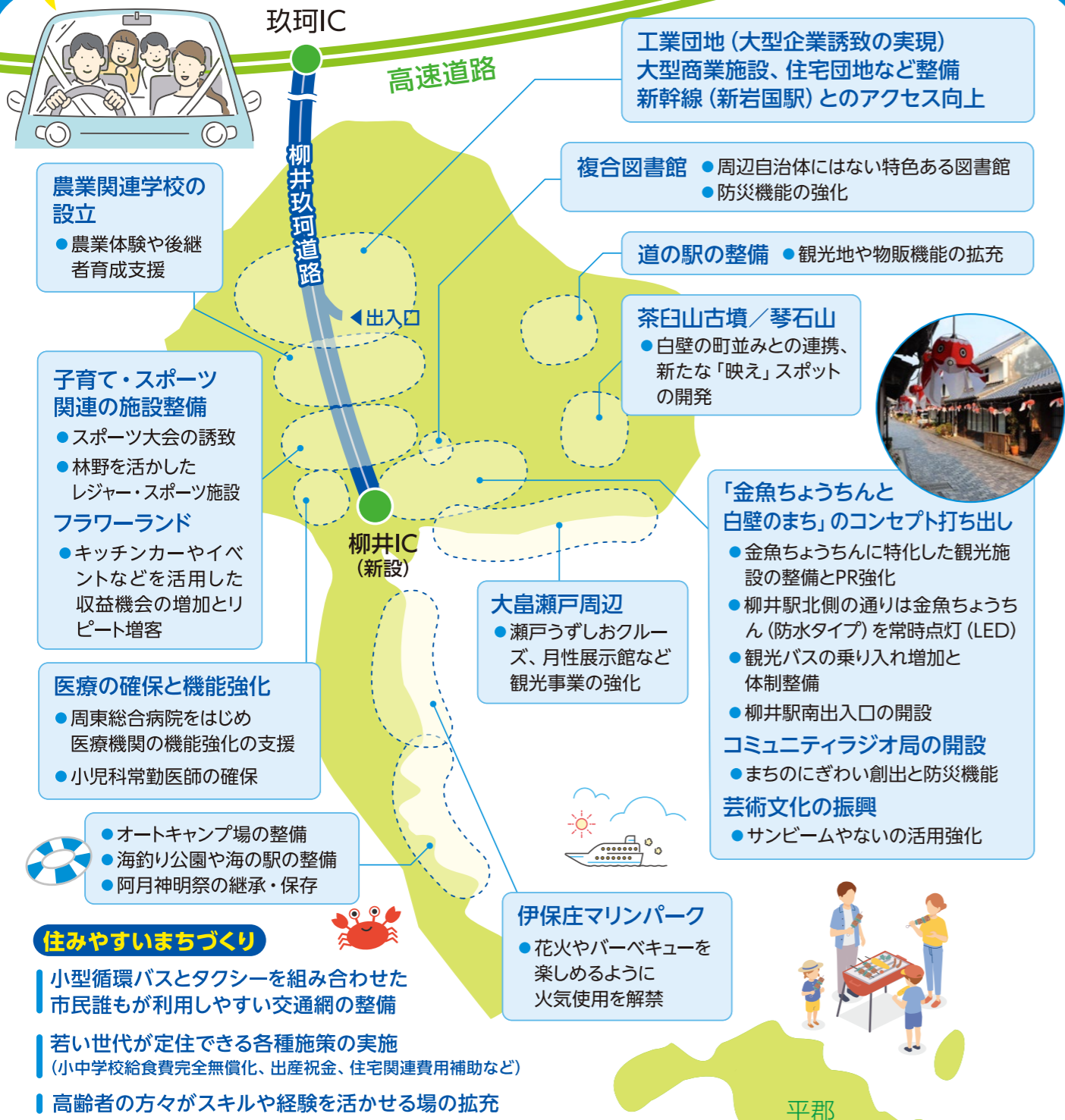
編集・発行元：やないの未来 〒742-0007 柳井市東土手13-33 Mail: yanainomirai@gmail.com



柳井玖珂道路の実現に大きく前進!

新設する柳井IC(インターチェンジ)と玖珂ICを結ぶ高速道路

YANAI



国土交通省 山本道路局長 (2024年7月~)



国土交通省 丹羽道路局長 (2022年6月~2024年6月)



下村太郎さん

古賀誠さん

●柳井玖珂道路

柳井市街地(新設する柳井IC)と玖珂ICを結ぶ約13kmの高速道路(地域高規格道路)

※県道柳井玖珂線とは別の新しい高速道路です
※一般に高速道路とは、「高規格幹線道路」と「地域高規格道路」を指します



古賀誠さんからのメッセージ

道路は人間の体でいえば血管のようなもので、経済や生活における基礎的な社会資本です。道路事業の**経済波及効果は非常に高く、企業団地や大型商業施設の整備、医療機関へのアクセス、観光にも大きな貢献が期待**されます。しかし、柳井市の現市長は2010年に柳井玖珂道路「玖珂ICと新設する柳井ICを繋ぐ高速道路」の整備不要を宣言し、それ以来進展していません。

下村太郎さんは私に柳井玖珂道路の必要性を毎月の

ように説明され、彼のふるさと柳井を思う姿勢や行動力、リーダーとしての資質を高く評価しています。

彼が提唱する「**経済と人口の好循環**」のまちづくりには**柳井玖珂道路が必要不可欠**です。下村太郎さんが柳井市で**主要な役割に就くことを前提として、柳井玖珂道路の整備を強力に推進**することを柳井市民の**皆様にお約束**いたします。

全国道路利用者会議会長
元自民党幹事長 / 福岡県みやま市名誉市民 **古賀誠**

やないの未来代表 細川裕司の声

初めて柳井玖珂道路の話聞いたときは、実現できるのかと思いましたが、詳しい話を聞いて理解することができ、本当に凄いことだと思いました。下村さんの人脈と行動力、努力の成果だと感じています。下村さんが語る柳井の未来はいつも明るく、柳井に対する熱い想いを感じています。

[編集・発行] やないの未来
〒742-0007 柳井市東土手13-33
MAIL▶ yanainomirai@gmail.com

下村太郎さんの
5つの基本方針と18の基本政策は
こちら▶ shimomura-taro.com

下村太郎 検索



古賀誠さんの経歴 (抜粋)

- 1980年 第36回衆議院議員総選挙初当選 (以後連続10期)
- 1987年 建設政務次官
- 1991年 衆議院建設委員長
- 1996年 運輸大臣 (国土交通大臣)
- 2000年 自民党幹事長
- 2001年 自民党道路調査会会長
- 2002年 日本遺族会会長
- 2015年 全国道路利用者会議*会長
- 2016年 福岡県みやま市名誉市民

*47都道府県、道路、建設、自動車、トラック、バス、タクシー、情報通信等の約4,100団体が参加し、道路整備を推進している



インフラ整備に関する功績 (福岡県みやま市ホームページより抜粋)

有明海沿岸道路は福岡県から佐賀県鹿島市を結ぶ地域高規格道路 (55km) です。

この道路で大牟田市、みやま市、柳川市、大川市が結ばれたことにより、国道208号線の混雑緩和と交通安全が確保され、地域間の交流促進・地域の活性化・観光振興が進んでいます。

また、「道の駅みやま」が開業し、連日多くの人で賑わっています。これら全て、古賀誠氏が都市と地方の格差をなくすべく、地方経済に活力を与える道路網の整備、社会資本整備に、故郷のため献身的に尽力された賜であります。

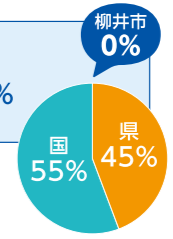


柳井玖珂道路 (高速道路) の要望開始から凍結、現在までの経緯

1999年
要望開始

長谷川忠男県議 (当時) が柳井玖珂道路を山口県に要望

計画の概要
総延長: 約13km 総事業費: 約250億円
事業費負担割合: 国55%・県45%・柳井市0%
通行料: 無料



2000年
調査・国への陳情開始
~2009年

山口県東部高速交通体系整備促進協議会 (以後協議会) が設立

※柳井玖珂道路の実現を目指す ※今日まで一貫して柳井市長が会長職を務める

山口県が10年間で約1億円をかけて調査を実施

※道路概略設計や地質、土質、トンネルなど7分野の専門家による環境調査、経済調査などを実施

二井県知事 (当時) が国土交通大臣に柳井玖珂道路の「新規候補路線の指定」を計4回求める

1月27日の協議会の冒頭で会長の井原市長が、柳井玖珂道路の見直しを宣言

2010年
計画見直し

井原市長 費用対効果という視点から計画を見直したい。

計画見直しは政権交代前 (2009年の民主党政権前) から言っており、多くの方に理解頂けると思う。(協議会後のインタビュー)



2010年~
事実上の凍結へ

柳井玖珂道路に対する山口県の調査費は一貫してゼロとなる。

※井原市長の見直し発言に対する二井知事と西村副知事 (当時) の発言

二井知事 井原市長は選挙の時から、国や県に頼らない市政を実現したいと言われていた。県としても来年度以降、調査費は計上せず、国に対しても候補路線指定のお願いはしない。(定例記者会見にて)

西村副知事 陸の孤島である柳井広域圏を発展させる切り札として、また、県の道路ネットワークの一つとして、この道路はきっちとしたプログラムで事業を進めていた。一気に否定、凍結されることはおかしい。

井原市長は、費用対効果に疑問、現県道の通行量が減っている、250億円の投資は無駄、と言われているが、この道路をつなぐことで地域開発のモチベーションが上がることは確かであった。流過程や安全性を考えると、決して費用対効果に問題があるとは思っていない。

この道路は広域の発展に資する目玉であっただけに残念でならない。約250億円の事業費は、国が55%、県が45%、地元負担はゼロであったことを知ってほしい。(新聞社インタビューにて)

2013年~
2024年 (現在)

井原市長の見直し発言から3年後の2013年に再度、協議会 (会長は井原市長) が柳井玖珂道路整備の要望を開始。しかし、(一度断った道路に対して) 10年以上経った現在まで進捗はない。

柳井玖珂道路整備を求める下村太郎さんへの井原市長の答弁 (抜粋)

2024年6月柳井市議会 一般質問

下村太郎さん Q 26年間、(全国で1路線も) 新規候補路線は指定がされていないからといって、柳井市で実現できないわけではありません。市長は (実現は) 難しいというお話だが、こういった弱腰では実現するものも少ないと思うがいかがお考えでしょうか。

井原市長 A 平成10年から新たな地域高規格道路 (高速道路) の候補路線は1路線も全国で指定されていない。率直に申し上げますが、今から、この26年間やっていなかった道路 (を実現すること) は極めて難しい。

現在~未来

下村太郎さん この計画 (立案~陳情~予算獲得~調査...) の実現へ汗を流された先人達のご苦労に再度想いを偲ばせ、「陸の孤島である柳井広域圏を発展させる切り札」として、柳井玖珂道路の完成に向けて再チャレンジ致します。



下村太郎さんの柳井玖珂道路に対する想い

柳井玖珂道路は間違いなく地域発展の目玉となります。私はこの道路を柳井広域圏の産業、観光、医療の柱にしたいと考えております。

道路建設時だけで柳井地域の経済効果は1,000億円を超えることが想定*1され、道路の開通後にはそれを遥かに上回る経済効果をもたらします。柳井市街地への観光客の大幅な増加や大型商業施設、企業団地の造成による大型工場の誘致、住宅団地の造成など多くの可能性があります。既存の市内企業・事業者にとりましては物流コストの低減や商圏エリアの拡大、経済波及効果の恩恵など多くのメリットがあります。



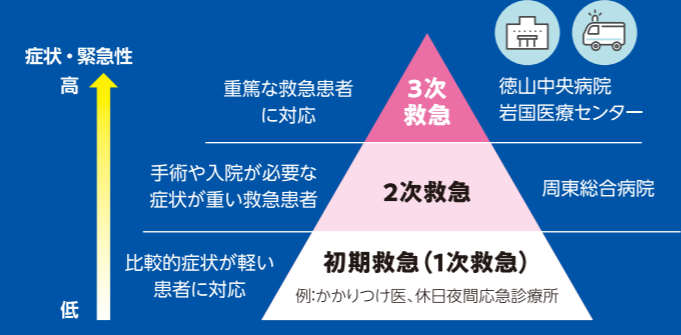
また、柳井玖珂道路は、地域医療の要である周東総合病院や岩国市や周南市の3次救急指定病院*2とのアクセスを飛躍的に向上させ、防災道路にもなる「いのちをつなぐ道」になります。

豊かな郷土を築く「経済と人口の好循環」のまちづくりに向けて、創意と工夫、勇気と情熱を傾け、柳井玖珂道路の実現に全力で取り組んでまいります。

*1 国土交通省国土技術政策総合研究所論文データにより算定
*2 2次救急では対応できない重症重篤患者に対応する救急指定病院



< 救急指定病院について >



柳井玖珂道路について市民の皆様の声

飲食業 やないの 店主
中本英宏さん

高速道路が開通すると、人の移動が活発になって、子どもたちの経験や学びがもっと豊かになると思います。交流が増えて「柳井っ子」が地域を盛り上げて、「金魚ちょうちんと白壁のまち」全体がより活気づくことを願っています。

3人の子育て中
弘田弘子さん

高速道路ができると、子どもを連れて遊びに行きやすくなり、習い事や部活動の移動も便利になりますね。柳井に住みながら進学する選択肢も広がります。市外の友人を呼ぶことや買い物も便利になり、楽しみが増えます。

主婦
伊藤洋子さん

高速バスに乗れたら移動がもっと便利になって嬉しいですね。防災や通院の面でも必要な道路だと思っています。誰もが安心して暮らせるまちづくりを期待しています。

運送業 熊谷産業 代表
熊谷秀紀さん

玖珂ICと柳井市街地の間はカーブや急こう配が多くて危険です。高速道路ができると安全に運転できるようになりますね。仕事の拠点として柳井が見直され、幅広い市内事業者に大きな経済効果があると思います。

皆さまの声を聞く活動を目指します。できない理由ではなく、できる方法を一緒に考えていきましょう！